

ひだかしんきん 地区内経済概況



***** 目 次 *****

業種別総括 令和 5年11月

概 況	1
漁業・水産加工業	2
農業・軽種馬生産業	3
建設業	3
木材・製材業	4
卸・小売業・観光	4
倒産・雇用状況	5
その他	5
指 標	6~7
トピッ ク	8
インフォメーション	9

概況

令和5年11月

〔漁業〕

- 11月23日、日高管内の秋サケ定置網漁は、大不漁のまま終わった。漁獲量は過去5年平均に比べ「庶野」が同76.4%減の87ト、「えりも町」が同97.1%減の15ト、「様似」が同91.9%減の37.7ト、「浦河」が同85.2%減の50.3ト、「静内」が同80.9%減の75.9トなどと、全11地区で激減した。

〔農業・軽種馬生産業〕

- みついし農協主催の黒毛和牛肉の品質を競う「第19回みついし牛枝肉共励会」の表彰式が11月30日開かれ、三石本桐の畑端博志さん(68)が出品した「雷太郎」の枝肉が最優秀賞に選ばれた。
- 競馬の中央と地方の有力馬が同走し、「ダート競馬の祭典」と呼ばれるJBC競走の交流GI(JpnI)3レースが3日、東京・大井競馬場で行われ、いずれも日高管内生産馬が勝利した。3レースとも日高管内産馬が制したのは2018年以来5年ぶり4度目。

〔建設〕

- 町発注工事(新ひだか〜広尾地区)の月中発注額は2億2,600万円で、前年を200万円上回った。
- 日高管内における国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証㈱の保証請負金額)は11億2,300万円で前年を4億2,600万円上回った。日本中央競馬会の発注工事が要因。
- 11月の建築確認申請件数(新ひだか〜広尾地区)は、3件で、前年を5件下回った。

〔小売業・飲食業〕

- 浦河町大通3の菓子店梅月堂手取商店で製造販売している「いちごけーき」が東京都内の北海道どさんこプラザ有楽町店で11月の1stルーキーズランキングで1位を獲得した。すずあかねのピューレといちご餡を生地に練りこみイチゴチョコレートでコーティングした焼き菓子。

〔観光・その他〕

- 襟裳岬の観光施設「風の館」は、冬季間の観光客が減少するため12月1日から来年2月末まで冬季休館に入る。元旦は道内有数の初日の出観光スポットとして、道央などから多くの観光客を迎えるため、午前5時から同8時まで臨時開館する。えりも岬観光センターも来年3月まで休業するが、元旦のみ午前5時から同9時ごろまで臨時営業し、暖かい食事とみやげ品を販売する。

〔雇用〕

- 11月の浦河地区と全道の月間有効求人倍率は、浦河地区、全道ともに前年を下回った。

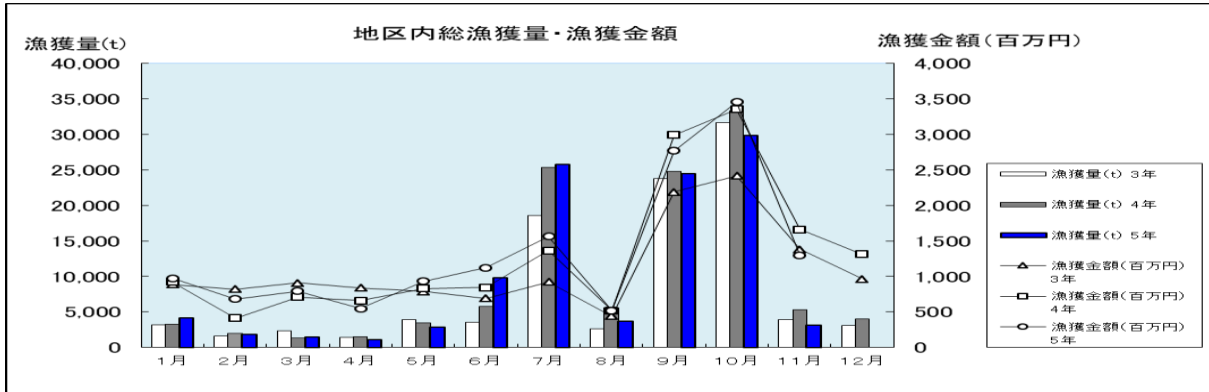
〔総括〕

建設業の月中請負金額(北海道建設業信用保証㈱の保証金額)は、前年を4億2,600万円上回り、町発注工事は前年を200万円上回った。漁業の漁獲量は前年を2,239ト下回り、漁獲金額は前年を3億6,000万円下回った。漁獲量では、底曳き網、タコ漁、昆布が増加、定置網、カレイ、タラ・スケソウ漁、イワシ漁が減少した。漁獲金額では、底曳網、タコ漁、昆布が増加、定置網、タラ・スケソウ、イワシ漁が減少している。秋鮭の11月23日末現在の漁獲量は、日高管内全体で456.1トと前年比23.0%、漁獲金額は4億1,631万円で、同24.4%と壊滅的な状況となっており、漁業関係者や水産加工会社、小売店に大きな影響が出ている。また、冬定番の新巻鮭の生産減少や小売店での秋サケの品薄、ふるさと納税の返礼品の品薄が見られている。飲食業は、コロナ禍前に戻ってきており、忘年会等の予約も増加しているが厳しい業況は続いている。個人消費は、物価高騰や年末年始の家計費増加を前に、11月は消費を抑える動きがみられている。主力産業の漁業の低迷等もあり、消費者の購買意欲は低く、停滞感が窺えるが、各関係業者は年末年始の準備等で消費が拡大することに期待を寄せている。

漁業・水産加工業

〔沿岸漁業〕 カレイ、タコ、ホッキ、シシヤモ漁等。〔沖合い漁業〕 サケ、キンキ、カニ、イワシ漁等。

総漁獲量3,100トン・総漁獲額13億円(前年同月比2,239トン減・3億6,000万円減)。



底曳網漁	964 t	185百万円	(前年同期比)	30 t 増	45百万円増
定置網漁	465 t	175百万円	(前年同月比)	222 t 減	342百万円減
カレイ漁	126 t	44百万円	(前年同月比)	78 t 減	11百万円減
タコ漁	55 t	54百万円	(前年同月比)	31 t 増	33百万円増
ツブ漁	16 t	6百万円	(前年同月比)	3 t 減	増減なし
ホッキ漁	20 t	11百万円	(前年同月比)	3 t 減	3百万円減
タラ・スケソウ漁	688 t	236百万円	(前年同月比)	1,075 t 減	31百万円減
サンマ漁	113 t	31百万円	(前年同月比)	98 t 減	67百万円減
シシヤモ漁	80 t	50百万円	(前年同月比)	33 t 減	11百万円減
昆布	245 t	411百万円	(前月同月比)	34 t 増	44百万円増
イワシ漁	191 t	13百万円	(前月同月比)	885 t 減	41百万円減
その他	137 t	84百万円	(前月同月比)	63 t 増	24百万円増

- 日高海区漁業調整委員会が11月23日現在でまとめた日高沿岸の秋サケ定置網漁の漁獲速報によると、全体の水揚げ量が前年同期比の23.0%、金額は24.4%と低調。特にえりもから浦河の東部海域が不振で、前年同期の2割～3割程度となっており、魚価は前年を上回っている。11月23日現在、日高管内全体の漁獲量は456.1トン(前年同期1,979.9トン)、14万5,490匹(同61万8,325匹)。金額は4億1,631万円(同17億626万円)となっている。1匹当たりの重量は前年の3.20キログラムから3.14キログラムと魚体はわずかに小さくなり、1キログラム当たりの単価は前年同期の862円から913円に増額している。過去5年平均と比べると、えりも岬以東の水揚げ量は約2割。そのうちえりも町漁港沖合は10.2%(金額12.3%)と低調。日高沿岸全体の漁獲重量も13.0%(金額15.8%)で、漁獲量、金額とも5年平均を上回っている地区はない。
- 漁業者は不漁による損失を穴埋めする「漁獲共済」などの公的保険でしのいでいるのが現状で、資金がなく保険の掛け金を借り入れる事業者もいるという。漁業者に支払われる共済金は、過去5年間の漁獲金額をもとに算出するため、不漁年が続けば額が減っていくことになる。定置網は許可された場所にしか設置できず、網に入ってきた魚を水揚げする漁法なので、魚種転換は容易ではない。このままでは多くの廃業者が出てしまうことが懸念されてる。

(対象は新ひだか、浦河、様以、えりも、広尾の各地区) (「t」はトンを表しています)

農業・軽種馬生産業

〔軽種馬生産業〕

- 5月23日の2歳トレーニングセールに始まった2023年の北海道市場は10月17日のオータムセールで5市場13日間に及ぶ全日程を終了させた。年間の総売上げは170億5,770万円(税別)。2017年に、1990年の約92億円を超える107億円を売上げて以降、19年から5年連続の売上げレコード更新となった。JRA札幌競馬場を舞台とする2歳トレーニングセールからスタートした。近年、好調な1歳市場の影響もあって上場頭数は116頭と前年を下回ったものの、重賞2勝バビットなど取引馬の活躍も背中を押して、内91頭を売却。市場レコードとなる78.45%の売却率でスタートした。続くセレクションセールでは9,400万円で購入されたシニスターミニスター牡馬筆頭に271頭を売却。北海道市場初めて売却率90%を記録し、2日間の売上総額も56億円を超えて4年連続のレコード更新。その勢いは定期市場においても衰えることなくサマーセールにおいては売却頭数、売上総額でレコード樹立。セプテンバーセールにおいても3日間トータルで過去最高の総売上げ、平均価格を記録するなど1歳市場においては、すべての市場で売上記録を更新するなどレコード尽くしの1年となった。

〔農業〕

- みついし農協主催の黒毛和牛肉の品質を競う「第19回みついし牛枝肉共励会」の表彰式が開かれ、三石本桐の畑端博志さん(68)が出品した「雷太郎」の枝肉が最優秀賞に選ばれた。畑端さんの最優秀賞受賞は今回で6回目となる。枝肉共励会は、三石地区を中心に新冠からえりも町までの広域で「みついし牛」ブランドとして出荷している黒毛和牛の肥育技術向上を目的に開催。今年も選抜された36頭が11月29日に東京都中央卸売市場食肉市場へ出品。最優秀賞1頭と優秀賞3頭、優良賞5頭の入賞を決めた。入賞の最優秀賞から優良賞までの枝肉はすべて最高ランクのA-5。36頭全体でもA-5は全体の77.8%の28頭となったほかA-4が5頭、A-3が3頭だった。売上総額は4,620万8,385円(1kg当たり平均単価2,487円。A-5格付28頭中、霜降り度合いを示すBMS(1~12))10以上が21頭で、最上の12ランクも10頭いた。

〔花き栽培〕

- 11月の花き出荷実績は、58万本、金額7,591万円(前年60万本、8,811万円)。

建設業

〔公共工事〕

- 日高管内の国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証株式の保証請負金額)は、11億2,300万円で、前年同月比4億2,600万円増加した。

〔町発注工事・建築確認申請〕 (令和5年11月)

	工 事 件 数				金 額 (百万円)				確認申請件数
	土 木	建 築	その他	計	土 木	建 築	その他	計	
新ひだか町	4	1	4	9	100	44	24	168	2
浦河町	2	2	1	5	52	3	1	56	0
様似町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
えりも町	0	0	0	0	0	0	0	0	1
広尾町	0	0	1	1	0	0	2	2	0
計	6	3	6	15	152	47	27	226	3

- 町発注工事(新ひだか～広尾地区)は2億2,600万円となった(前年同月2億2,400万円)。工事発注状況をみると、前年同月比では、件数は6件下回り、金額は200万円上回った。
- 11月中受付の建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は3件で、前年を5件下回った。

木材・製材業

〔木 材〕

- ・チップ材の出荷状況(広尾地区)は、数量が401ト(前年522ト)で前年比23.2%の減少。出荷金額は893万円(同1,098万円)で前年比18.7%の減少。

〔製 材〕

- ・建材(様似地区)11月の受注は前年並みとなった。プレカット材は受注なく生産を停止している。

卸・小売業・観光

〔卸売業〕

- ・野菜は、道内産の、ニンジン、ゴボウ、ホウレン草、ネギ、カボチャ、長イモ等。本州産は、ハクサイ、キャベツ、レタス、キュウリ、ナス、トマト等が出荷されている。果物は、本州産のミカン、リンゴ、カキ等となっている。今夏の猛暑の影響で、野菜の値段は高値で推移している。

〔小売業・飲食業〕

- ・日高信用金庫が実施する新商品開発サポート事業で、3事業者が規格外の夏イチゴを使って開発した新商品がこのほど完成し、18日から24日まで浦河町のうらかわ優駿ビレッジアエルで初めて開催する「ひだかしんきん夏いちごフェア」で店頭販売した。日高信用金庫が、浦河町と様似町産の夏イチゴ「すずあかね」の規格外品に付加価値を見出すため、イチゴを地元飲食店などへ贈呈し、新商品開発を依頼するサポート事業を実施して3年目になる。今年も、浦河町アエルのオリジナル商品「浦河いちごジャム入りマフィン」、新冠町のc a f eゆるりが限定生産した「おうまさんのあしがたクッキー」、「いちごパウンドケーキ」、「いちごうまくいくクッキー」、広尾町菊地ファームカフェの「夏いちごプリン」を開発した。フェアではこれらの新商品と、過去に開発された夏イチゴ使用のパイや羊羹などが販売された。

〔観光・その他〕

- ・札幌市中央区の大型商業施設「サッポロファクトリー」で3日、広尾町から贈られたトドマツを使ったジャンボクリスマスツリーの点灯式が行われた。ツリーの寄贈は31回目。広尾町で掘り出されたトドマツは、高さ約15m、重さ約3ト、樹齢約30年。赤や青、金色など彩り豊かなLEDライト約5万個と約1,500個のオーナメントで装飾した。点灯式の実施は新型コロナウイルスの影響で2019年以来、4年ぶり。点灯式には広尾町の村瀬優町長、「ひろおキッズサンタ」の小学生4人が出席。ツリー点灯は12月25日まで。点灯時間は午後4時～同10時。同4時から1時間ごとに、約5分間の音と光のショータイムが行われる。
- ・環境省が日高山脈襟裳国定公園を国立公園化する計画の概要が7日、分かった。指定される陸域は日高山脈の1帯と襟裳岬を中心とする24万5,668ha。国定公園の10万9,555haから2.24倍に拡大され、国内最大となる。同省はパブリックコメントを実施し、「2024年夏ごろ」の指定を目指す。国立公園の名称は日高、十勝の両町村会が「十勝」の地名を入れるよう同省に要望していることから、素案では「未定」とする。中央環境審議会に対する諮問の案に盛り込む予定。指定されれば、道内では1987年指定の釧路湿原以来7カ所目、国内では35カ所目となる。計画概要によると、規制が最も厳しい「特別保護地区」は7万3,743ha。日高山脈最高峰の幌尻岳(2,052m)やカムイエクウチカウシ山(1,979m)、ペテガリ岳(1,736m)などの1帯が指定される。世界ジオパークに認定されているアポイ岳(810m)も「特別地域」などに指定される見込み。同省は日高山脈襟裳国定公園について、氷河に削られた「カール」と呼ばれる地形や、ヒダカソウなどの固有種が生息していることなどを高く評価。2010年から国立公園の候補としていた。

倒産・雇用状況

〔管内の倒産〕

- ・ 当金庫管内(新冠町～えりも町)の倒産は、1件(前年同月0件)、負債総額6,100万円、(同ゼロ)。
当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は、2件(前年同月0件)、負債総額8,400万円(同ゼロ)。

〔道内の倒産〕

- ・ 北海道の倒産件数は20件(前年同月14件)、負債総額は17億4,500万円(同13億7,900万円)、倒産件数は前月比8件減少、前年比6件の増加となった。

〔全国の倒産〕

- ・ 全国の倒産件数は807件(前年同月581件)、負債総額は948億7,100万円(同1,155億8,900万円)。
倒産件数は前月比14件増加、前年比で226件の増加となった。
(東京商工リサーチ)

〔雇 用〕

- ・ 11月の浦河地区の月間有効求人倍率は1.40倍で、前年比0.40ポイント下降、前月比0.01ポイント上昇した。有効求人数は892人で前年比140人の減少、前月と同人数となった。有効求職者数は635人で前年比63人の増加、前月比で7人の減少となった。全道の月間有効求人倍率は1.04倍で、前年比0.12ポイント下降、前月比0.02ポイントの上昇となった。

その他

管内生産馬 中央競馬重賞レース勝馬

- 11 / 4 第59回 京王杯2歳ステークス (GⅡ)
コラソンビート 号 (新冠町 ビッグレッドファーム 殿生産)
- 11 / 4 第28回 ファンタジーステークス (GⅢ)
カルチャーデイ 号 (新ひだか町 松田牧場 殿生産)
- 11 / 11 第28回 武蔵野ステークス (GⅢ)
ドライスタウト 号 (日高町 下河辺牧場 殿生産)
- 11 / 11 第25回 京都ジャンプステークス (J・GⅢ)
エコロデュエル 号 (日高町 下河辺牧場 殿生産)
- 11 / 26 第68回 京阪杯 (GⅢ)
トウシンマカオ (新ひだか町 服部牧場 殿生産)

令和5年度 日高沿岸秋サケ定置漁業の漁獲速報 (累計) (11月23日)

地 区	旧漁協名	漁場数	漁獲重量	前年同期	前年比	漁獲金額	前年同期	前年比
			(kg)	(kg)	(%)	(千円)	(千円)	(%)
えりも 以東西部 (庶野～襟裳岬)	庶野	5	87,011	224,368	38.8	79,102	191,492	41.3
	えりも	3	11,560	85,345	13.5	11,735	73,437	16.0
	合 計	8	98,571	309,713	31.8	90,837	264,929	34.3
えりも 以西日高 (襟裳岬～門別)	えりも	9	15,092	86,805	17.4	13,475	80,918	16.7
	冬島	3	17,267	82,322	21.0	14,707	72,945	20.2
	様似	4	37,705	193,725	19.5	35,148	177,839	19.8
	浦河	4	50,340	163,674	30.8	50,263	158,944	31.6
	荻伏	2	59,316	210,655	28.2	57,534	193,427	29.7
	三石	3	40,935	218,456	18.7	35,679	177,570	20.1
	静内	6	75,919	362,404	20.9	66,820	298,203	22.4
	新冠	3	42,861	227,344	18.9	37,038	185,329	20.0
門別町	4	18,110	124,879	14.5	14,816	96,159	15.4	
合 計	38	357,545	1,670,264	21.4	325,480	1,441,334	22.6	
日高管内合計	46	456,116	1,979,977	23.0	416,317	1,706,263	24.4	

(注) 調査区域：浦河地区、新ひだか町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾地区

《指 標》

1 営業区域の人口・世帯数動向 (令和5年11月末現在) (単位:人)

町 村 名	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前月比	世 帯 数	前年同月比	前月比
平 取 町	4,550	-65	-16	2,419	-4	-12
日 高 町	10,633	-306	-20	5,853	-105	-10
新 冠 町	5,164	-28	0	2,822	43	3
新ひだか町	20,607	-464	-28	11,349	-101	-9
浦 河 町	11,457	-236	-4	6,644	-49	-3
様 似 町	3,915	-94	-11	2,089	-10	-2
え り も 町	4,178	-137	-25	2,015	-61	-11
日高地区合計	60,504	-1,330	-104	33,191	-287	-44
広 尾 町	6,075	-154	18	3,160	-70	-24
大 樹 町	5,355	-82	-23	2,818	28	-14
日高・十勝地区合計	71,934	-1,566	-109	39,169	-329	-82
札 幌 市	1,957,522	-2,967	-526	1,105,041	7,910	162
江 別 市	118,749	-504	-47	59,671	238	32
石 狩 市	57,727	-246	-28	28,655	211	-1
北 広 島 市	56,936	-481	26	28,290	81	14
恵 庭 市	70,348	88	-52	35,513	595	9
千 歳 市	97,960	282	-114	52,207	757	-45
石狩地区合計	2,359,242	-3,828	-741	1,309,377	9,792	171
苫 小 牧 市	167,018	-1,406	-88	91,128	213	-12
厚 真 町	4,304	-79	-11	2,116	-16	-7
む か わ 町	7,352	-178	-24	4,011	-39	-22
胆振地区合計	178,674	-1,663	-123	97,255	158	-41
営業区域合計	2,609,850	-7,057	-973	1,445,801	9,621	48

注: 日高町の人口数に外国人登録者数は含まれていません。

(資料出所:各市町村)

2 労働需給状況(令和5年11月)

	浦河職安	全 道	前年同月比		前月比	
月間有効求人数	892	85,388	-140	-10,192	0	-539
月間有効求職者数	635	82,338	63	-368	-7	-1,994
月間有効求人倍率	1.40	1.04	-0.40	-0.12	0.01	0.02

(資料出所:北海道労働局)

3 企業倒産状況(令和5年11月)

(単位:件、百万円)

	件 数	金 額	前年同月比(件数)	前年同月比(金額)	業 種	地 区
苫小牧管内	2	84	2	84		
うち新冠町~えりも町	1	61	1	61		
北 海 道	20	1,745	6	366		
全 国	807	94,871	226	-20,718		

(資料出所:東京商工リサーチ)

4 浦河町・新ひだか町 金融機関預金・貸出金残高(令和5年11月末)

(単位：百万円、%)

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
179,842	2.06	-1.41	58,763	-2.27	0.02

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

5 町発注工事 (令和5年11月)

(単位：百万円)

	11月		累 計		前年同月		前年同月累計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
新ひだか町	9	168	102	2,614	8	161	73	1,861
浦 河 町	5	56	77	4,179	8	41	81	935
様 似 町	0	0	37	486	0	0	33	1,507
えりも町	0	0	39	560	2	6	45	418
小 計	14	224	255	7,839	18	208	232	4,721
広 尾 町	1	2	45	401	3	16	52	512
総 合 計	15	226	300	8,240	21	224	284	5,233

(資料出所：各町)

6 建築確認申請 (令和5年11月)

	11月	累 計	前年同月	前年累計
	件 数	件 数	件 数	件 数
新ひだか町	2	16	2	21
浦 河 町	0	10	5	17
様 似 町	0	4	0	6
えりも町	1	3	0	2
小 計	3	33	7	46
広 尾 町	0	9	1	11
総 合 計	3	42	8	57

(資料出所：各町)

7 気象情報(札幌管区气象台発表)

令和5年11月中の気象状況

(単位：℃、mm、h)

	本 年			平年偏差・平年比			平年偏差、平年比は、1991～2020年の資料から算出された平年値を使用。気温は当月の平均気温から平年値を差し引いたもの(平年比)。降水量、日照時間は当月の降水量・日照時間の平均を平年値で割り返したもの(平年偏差)。
	気 温	降水量	日照時間	気 温	降水量	日照時間	
浦 河	7.5	102.5	111.9	1.4	122.9	91.9	
広 尾	7.8	122.5	147.6	2.6	95.9	98.9	

(資料出所: 国土交通省・気象庁)

北海道の価格高騰等経済対策事業【予告】

北海道では、第4回定例道議会で価格高騰関連の予算を議決しました。
その中から、事業者の方々に対する支援の概要について、お知らせします。

中小企業のエネルギー高騰対策への支援

中小企業の設備等導入への支援

1企業あたり

省エネ：最大100万円

デジタル：最大200万円

※令和6年（2024年）2月初旬 募集開始予定



事業継続に向けた支援

人手不足分野の人材確保を支援

就労者：最大20万円

道内企業：最大20万円

※令和6年（2024年）1月下旬 募集開始予定



地域交通・運送事業者への支援

地域を支える交通・運送事業者の車両整備に要する経費を支援



1台あたり
2万2千円



1台あたり
1万5千円

※トレーラーは1台あたり5千円



1台あたり
1万2千円

※令和6年（2024年）1月中旬 募集開始予定

※支援内容が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【問い合わせ】北海道日高振興局産業振興部商工労働観光課 電話 0146-22-9281

懸賞金総額
1,300 万円



販売総額
130 億円



第38回

Wow!

スーパーチャンス

お取扱期間：令和5年12月1日（金）～令和6年3月29日（金）

ひだかしんきん懸賞金付定期預金

抽選日
令和6年11月8日

懸賞金
1等 **10** 万円



懸賞金
当選総本数
2,808 本

※13ユニット完売した場合
※懸賞金からは別途20.315%の税金が徴収されます。商品内容等詳細はチラシ裏面または当金庫ホームページ等をご覧ください。

お申込み・お問い合わせはお近くのひだかしんきん窓口へ。ご希望の場合は営業担当がご訪問いたします。

日高信用金庫

http://www.shinkin.co.jp/hidaka



本店営業部	☎0146-22-4111	えりも支店	☎01466-2-2311
静内支店	☎0146-42-1531	広尾支店	☎01558-2-3161
三石支店	☎0146-33-2311	堺町支店	☎0146-22-5611
様似支店	☎0146-36-2341	札幌支店	☎011-200-7070



ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本店	〒057-0013	浦河郡浦河町大通2丁目1番地2(仮店舗)	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺町支店	〒057-0034	浦河郡浦河町堺町西1丁目83の59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静内支店	〒056-0016	日高郡新ひだか町静内本町1丁目1の15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三石支店	〒059-3108	日高郡新ひだか町三石本町197の23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様似支店	〒058-0014	様似郡様似町大通2丁目35の2	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204	幌泉郡えりも町字本町170の1	☎ (01466) 2-2311
ATM	広尾支店	〒089-2615	広尾郡広尾町本通8丁目7の1	☎ (01558) 2-3161
	札幌支店	〒060-0004	札幌市中央区北4条西5丁目1-4 大樹生命札幌共同ビル4階	☎ (011) 200-7070

ATM 営業時間 平日 8:45~18:00

※札幌支店を除く各店舗に「ハンドセット搭載機」のATMが設置されております。

土曜日 ATM 稼働店：本店(仮店舗)・堺町支店・静内支店・三石支店・様似支店・えりも支店・広尾支店

土曜日 ATM 営業時間 9:00~17:00

日曜・祝日 ATM 稼働店：本店(仮店舗)・静内支店

日曜・祝日 ATM 営業時間 9:00~17:00

店外 ATM

浦河町役場内 ATM 浦河郡浦河町築地 浦河役場内1階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~16:00

浦河赤十字病院内 ATM 浦河郡浦河町東町 浦河赤十字病院内1階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~18:00

パセオ堺町店内 ATM 浦河郡浦河町堺町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

マックスバリュ静内店内 ATM 日高郡新ひだか町静内木場町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

日高德洲会病院内 ATM 日高郡新ひだか町静内こうせい町

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~18:00 土曜 9:00~17:00

※店外 ATM は、全て「ハンドセット搭載機」です。

※ハンドセット付 ATM：プッシュボタン付受話器から、音声ガイダンスにより操作手順をご案内する ATM です。



〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31の2

電話 (0146) 22-4100 FAX (0146) 22-6106

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>

